

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市幸町南児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク
3	指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 22,741人 (前年度比 99.7%) 平成29年度 22,805人 平成28年度 23,777人 平成27年度 24,968人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 25,936千円 ( 26,356千円) ( )は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 0千円 ( 0千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 ( 0千円) ・ その他収入 0千円 ( 0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

### 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、保護者組織と連携して夏の親子交流会、お楽しみ会、児童館まつり等を実施し、保護者と協力関係の構築や、児童クラブへの理解、保護者同士の交流等につなげている。クラブ通信を年5回発行し予定や連絡等の情報提供を行うほか、児童館だよりで前月の活動の様子を写真等でわかりやすく伝えるなど、家庭と情報を共有し互いの様子を伝え合う環境づくりに取り組んでいる。 子育て支援クラブの活動を支援し、乳幼児、保護者、小学生対象行事等の実施を通して、子育て支援の充実に取り組んでいる。	18/18

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
<b>加点評価</b>	
—	

### 四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク）による自己評価》
<p>幸町南児童館は、団体の児童館目標「魅力ある児童館の創造」を受けて、温かい雰囲気づくりときれいな施設の維持を重点とし、子供たちやその保護者が「この児童館（児童クラブ）で過ごしてよかった」と実感できる児童館運営を目指し、児童の健全育成、子育て支援、放課後児童健全育成、地域連携の各事業を企画・運営してきた。「子供は遊びの中で育つ」「子供は地域の中で育つ」ことを念頭に置き、平成30年度は、地域の人のことを材とした行事を多く設定してきた。</p> <p>地元の連合町内会や病院施設、障害者施設、大型店舗等と連携し、すずめ踊りの披露を通して地域交流に努めた。また、パラリンピック開催を見据え、近隣の障害者施設とポッチャによる交流活動も取り入れ、子供たちと障害者が笑顔で取り組める行事を設定できたことは、児童の健全育成に大変有効であったと考える。子育て世代の若いママさんと子育てのベテランである看護師や保育心理士とのつながりをつくり、悩みを解決する行事を持てたことも大変有効であった。</p> <p>また、今年度は乳幼児親子の来館者数が増加した。本館が掲げる「温かい児童館」「きれいな児童館」が受け入れられ、安心してひと時を過ごす場を提供することができたと考える。利用者アンケートにおいても、大変良い評価をいただいた。</p> <p>児童クラブにおいては、「子供のつぶやきを実現する」「子供の活躍する場を確保する」「どうすればよかったか失敗から学ぶ」経験を大切に、全職員一丸となって支援してきた。子供たちは自ら考え、行動することによって、他から評価を得て、自己有用感を高めてきている。それは次の活動への強い意欲となって表れている。次年度も「地域とともに育つ子供、地域とともに育つ児童館」の運営を目指して、児童館の主たる4事業に取り組んでいきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>乳幼児を対象に、発達に応じた定例プログラム、家庭健康課等と連携した育児講座・相談、保護者向け行事等を実施し、子育て世帯の支援及び交流促進を図っている。</p> <p>小学生に関しては、月例の製作活動、企画行事、日常の集団・運動遊び等の提供や遊びの支援から心身の育成に取り組むほか、高学年対象の登録制活動において主体的な取組みを支援している。伝統芸能すずめ踊りを、町内会行事、商業施設、障害者福祉センター、障害者福祉サービス事業所などで披露し、子どもの活動や交流の場を地域の中に広げている。また、障害者福祉センターが近隣にある地域特性を生かし、障害のある方とのスポーツ交流を通して、多様な人との出会いや理解につなげている。</p> <p>自由来館者の居場所づくりとして、毎週土曜日に昼食を持参する「お弁当タイム」を設けているほか、遊戯室でのスポーツ利用を中心に多くの中高生の日常的な利用がある。運営懇談会の開催、地域ネットワークや地域行事への参加、地域と連携した行事の実施等から地域との連携・交流を深め、子どもと子育て家庭を支える環境づくりに取り組んでいる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室